

会 議 録

会 議 名	令和5年度第1回東浦町中央図書館協議会	
開 催 日 時	令和5年6月20日(火) 午後3時00分から午後4時20分まで	
開 催 場 所	東浦町中央図書館2階 大会議室	
出 席 者	委員等	杉浦恵子氏、成田幸治氏、浅井真司氏、松橋秀親氏、小田薫氏、月原康雄氏
	事務局 (生涯学習課、株式会社図書館流通センター)	庄子教育長、横井教育部長、佐東生涯学習課長、長谷川主事、島津図書館長、大西副館長、平松サブチーフ
議 題 (公開又は非公開の別)	1 令和4年度事業報告について(資料1) (公開) 2 令和5年度事業計画(案)について(資料2) (公開) 3 その他(公開)	
傍聴者の数	0名	
審 議 内 容	<p>◆図書館長 資料確認を行う。 会議の成立について報告する。</p> <p>次第に従って会を進める。</p> <p>◆教育長 (挨拶)</p> <p>◆委員長 (挨拶)</p> <p>以降は委員長が議事を取り回す。</p> <p>◇委員長 次第に従い議事を進める。議題1「令和4年度事業報告について」を議題として、事務局からの説明を求める。</p> <p>◆事務局 資料1にもとづき、令和4年度事業報告について説明する。</p> <p>◇委員長 図書館長の報告を受けて、委員の質疑を募る。</p> <p>◇委員 電子図書館の利用状況の数値について、令和4年度事業報告にあるP7の</p>	

貸出冊数には、数字が含まれていないということか。

◆事務局

令和4年度事業報告のP30に掲載しているのは電子図書館の実績のみである。P7にある利用統計には、この数値は含まれていない。

◇委員

ベストリーダーで東野圭吾の作品が上位を独占しているのは、図書館で何か働きかけをされていてこのような結果になったのだろうか。

◆事務局

特に図書館で貸出を促進するような働きかけはしていない。該当の作品は常に貸出中の状態であり、書架に入っている時の方が少ない。
例年、東野圭吾の作品がベストリーダーになるのは2～3冊程度なのだが、今年度は偶然、東野圭吾作品がベストリーダーを独占する状態になった。

◇委員

事業報告で、東浦町は他の自治体よりも利用登録率が高いという説明があったが、なぜだろうか。考えられる原因をわかる範囲で良いので教えてほしい。

◆事務局

東浦町では、図書館見学で貸出体験を実施する小学校3年生に、図書館カードの作成を行っている。そのような取り組みが継続的に続いているからこそその30%という数値なのではないのかと考えられる。

◇委員

他の市町村では、図書館見学時に図書館カードを作っていないのか。

◆事務局

実施していると思われるが、東浦町に関して言えば、貸出実習を実施する学校が多いのかもしれない。

◇委員長

ベストリーダーについて、逆に一度も借りられていない本もあると思うが、そのような本を利用者に借りてもらえる手立て等はあるか。

◆事務局

書庫で眠っている本については、特集展示などで展開し、利用者の目に触れる工夫をしている。しかしながら、1回も借りられていない資料にはレファレンス関連の資料が多い。資料の性質上、貸出に繋がりにくいと思われるが、レファレンスブック特集を展開しても良いかもしれない。

◆生涯学習課

直営時代に、「借りられたことがない本」特集を行っていたので参考にして

もらえたらと思う。

◇副委員長

新たにパネルシアターを購入したとあるが、利用はいかがか。

◆事務局

年度末に購入し、今月(6月)から運用を開始したばかりで、まだ実績がない。常連のボランティアからは、既に貸出の問い合わせがあり、注目されていると思われる。パネルシアターについては来年度に実績を報告したい。

◇副委員長

学習席予約システムについて、予約しない学生が閲覧席を占領してしまうことは起きていないか。学生が閲覧席を占領してしまい、資料を閲覧できないという状況が過去にあったが、今はどうなのか。

◆事務局

確かに今も窓際の閲覧席を利用する学生がいなくもないが、そのような学生には、声掛けを行い、学習席予約システムを案内している。

予約システムを導入したことで、スタッフが声掛けしやすくなりトラブルは発生しにくくなったと思われる。

予約なしで来館した場合について、特に夏休み期間が多いが、図書館カードを持たない小学生だけで来館しても、学習席を利用できるよう配慮は行っている。

◇委員

レファレンスについて、図書館の特徴的なサービスだと思われるが、具体的にどのようなものなのか。

◆事務局

2階にレファレンスカウンターがあり、本の場所が知りたいといった、その場ですぐに答えられる内容であれば、1階カウンターでも受付している。

昨年度、電話での問い合わせがあったが、地域の神社や遺跡について調べたいといった内容のレファレンスについては、スタッフが調べた結果をお伝えすることもある。

図書館の特徴的なサービスではあるが、そのほとんどは、「この本はどこにありますか」など、その場で答えられる内容のものの方が多いのが現状である。

◇委員

学習席利用について、自分の教え子たちが東浦の図書館の学習席を利用している。町外からわざわざ東浦町の図書館へ勉強をしに来る学生もいるようだ。東浦町中央図書館の学習席は、人気のある場所だといえる。

できるだけたくさんのお子たちが来てくれたらいいと思う。

◇委員長

学習席を利用している学生たちに本を手にとってもらいたいと思う。
そのような機会、取り組みはあるだろうか。

◆事務局

現在、学習室横に司書たちの本棚を設置している。貸出中の状態のもの
も多い。

今後、中高生の図書館利用の動きの中で本を手にとってもらえる仕組みを
作りたいと考えている。現在 YA コーナーとして、中高生向けの本を集めた
書架の設置を計画している。

◇委員長

学習室の中に本棚を設置するのはどうか。

◆事務局

学習室の中に本棚を設置するのは難しい。YA コーナーは学生の図書館利用
の動線上に作りたいと考えている。

◇委員

男女別貸出点数について、どのようにこのデータを活かしたいと考えてい
るのか、方向性があれば教えてほしい。

◆事務局

蔵書構成にも影響があるのかと思われる。LGBTQ など現代の潮流として考
えなければならない点もあるかもしれないが、内部的なデータとしては保
持しても良いのではないかとと思われる。

活用については、利用曜日などと組み合わせて、イベントの開催日時を設
定するといった活用ができるのではないかとと思われる。

◇委員

障がい者利用促進のためのバリアフリー上映会の取り組みが素晴らしいと
思った。当日の雰囲気が知りたい。

◆事務局

日本語の字幕や音声ガイドがついた映画である。今年度は映画「すみっこ
ぐらし」を上映した。会場は当日満席ではあったものの、ファミリー層が
多く、外見的に障がい者と判断できる参加者はいなかった。

今年度は町内の関連施設などに声をかけて周知を行い、実施したいと考
えている。

◇委員

自分が勤めている小学校では外国籍の子が多い。外国籍の子どもにとって
は、学校図書室の資料だけでは言語の面から利用が難しい。中央図書館で
も多国籍の子どもたちが利用できる資料を増やしてもらえると嬉しい。

◆事務局

電子図書館でも英語多読の本を入れ始めている。ぜひ一度見てもらいたい。洋書は日本語の本とは販路が異なるため、思うような本が見つからないこともあるが、先生方におすすめの洋書を聞く機会があってもよいのかもしれない。今後も継続して積極的に収集していきたいと考えている。

◇委員長

・議題1について締め切り、議題2「令和5年度事業計画」について、事務局へ説明を求める。

◆事務局

・議題2「令和5年度事業計画」について図書館長から説明。

◇委員長

事務局の報告を受けて、委員の質疑を募る。

◇副委員長

在架予約について、4月から開始しているのか。状況はどうであるか。

◆事務局

9月から運用開始を目指して現在、準備している状況である。

◇副委員長

県内で在架予約を行っている図書館は少ないのか。

◆事務局

実施している図書館は多いと思われる。実施していない図書館の方が少ないのではないだろうか。

◇委員

事業報告にて、児童の利用について6歳未満の貸出点数が増え、7～9歳の利用が減ったとあるが、そのような状況に対して何か考えているのか。

◆事務局

7～9歳となると、小学校1～3年生が対象になる。図書館見学などの機会を活かしながらPRしていきたいと思っている。

子どもたちは、自分の図書館カードではなく保護者の図書館カードで利用しているのではないかと考えられる。今後も引き続き分析を続けていきたい。

◇委員

外国籍の人に向けた居場所づくりが大切だと思われる。何か工夫があれば参考にしたいので教えてほしい。

◆事務局

当館は比較的外国語の本が多いと思っている。和室やおはなしコーナーに

英語絵本があり、他館と比べると、多数あって恵まれた環境だと思っている。学校への団体貸出では、英語の本が利用されていないと感じているので、そのような本の貸出を促進してみたり、学校図書館サポーターへ紹介するなどPRをしてみたい。学校との連携は前向きに検討していきたい。

◇委員長

英語だけでいいのか。

◇委員

できればポルトガル語があると嬉しい。

◇委員

愛知県では、ブラジルや中国、ベトナムなど英語圏以外の外国籍の児童が増えている。そのような人たちのためにもぜひ学校図書館と連携してもらいたい。

◇委員長

子ども向けホームページについて、対象年齢はどれくらいを想定しているのか。

◆事務局

入学時に配付されるタブレットの活用を視野に入れ、小学校入学後の子どもを対象に考えている。

◇委員長

漢字にルビを使う。言い方をやさしくするなどの工夫が必要かと思われる。また、どのようなPR方法を考えているのか、学校現場への連携についてはどのような話になっているのか。

◆事務局

連携やPR方法については、ホームページ完成後に関連機関各所へ相談していきたいと考えている。

◆生涯学習課

学校図書館研究部会や学校ICT推進部会など、学校現場で活用できる図書館のサービスを紹介する機会にPRをしていく予定である。

◇委員長

学校図書館サポーターも参加しているものであるか。

◆事務局

6月22日開催の学校図書館研究部会に出席予定である。有意義な時間にしてもらいたい。

◇委員

特集展示について、指定管理者の運営になって大きく変わって、よくなっ

たのではないかと思っている。ぜひ頑張ってもらいたい。スタッフの負担にならない程度に、現在の特集展示を継続して実施してもらいたい。

◆図書館長

大変励みになる言葉である。毎月担当者を変え、スタッフ1人1人が工夫を凝らして展示している。スタッフ負担にならないようには心がけているが、各々楽しみながら準備をしているように思える。
ぜひ毎月見てもらいたい。

◇委員長

議題2についての質疑を締め切り、議題3「その他」について、事務局へ説明を求める。

◆図書館長

よむらびん第9号について、今年度も全戸配布を行った。昨年度の協議会で挙げた意見を参考に、従来のものからレイアウトを一新した。第9号では施設紹介をメインにした内容を掲載している。
第9号の掲載内容を今後のよむらびんに掲載し続けるのではなく、次回第10号ではまた新しい内容を掲載したいと考えている。

◆事務局

その他の案件がないことを確認し、議事の終了を宣言。
挨拶を行い、会議の終了を宣言する。